



地域を支え、地域に支えられる病院



研修医 / 専攻医

2026 年度 募集のご案内



社会医療法人 岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

理念

慈 仁

いつくしみの心で、すべての命に平等に向きあう

2016年1月 社会医療法人 岡本病院(財団)

岡本病院憲章

岡本病院憲章

岡本病院の使命は、医療を以って地域住民に奉仕することにある。
そのために職員は

「この人はわが子、わが親、わが兄妹」

といった気持ちで患者に接しなければならない。

この言葉は

「いつでも、だれでも、よい医療を」

ということに通ずる。

従って職員は、医療内容の充実と向上のためたゆまざる研鑽に励まなければならない。

同時に病院も、そうした職員の努力と期待に応え、医療設備の充実はもちろん職員の待遇と福祉の向上に努めなければならない。

過去二十五年、岡本病院は、この精神を貫き通して地域住民の期待に応えて今日の発展を見たが、医療の荒廃が叫ばれる昨今、我々は思いを新たに地域住民の医療に奉仕せんとするものである。

昭和五十四年四月

社会医療法人岡本病院(財団)

目次

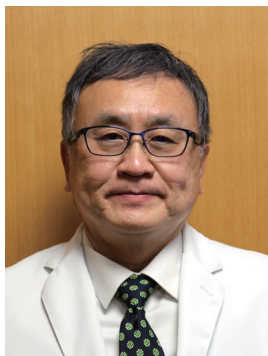
● 京都岡本記念病院について	3
・ ごあいさつ 高木 敏貴 院長	
・ 沿革	
・ 京都岡本記念病院の概要	
・ 2024 年度 診療科別医師数	
・ 各階の構成	
・ 2023 年度 診療実績	
・ 当院の特徴	
● 研修医	12
・ ごあいさつ 宮田 正年 臨床研修プログラム責任者・消化器内科主任部長	
・ 臨床研修プログラム概要	
・ おもな研修医対象勉強会	
・ プログラムの特徴	
・ 当院の福利厚生	
・ 現職 VOICE !!	
・ 応募要項・処遇など	
・ よくある質問	
● 専攻医	23
・ 内科専門研修プログラム	
・ 内科系診療科紹介	
・ 麻酔科専門研修プログラム	
・ 学会専門医等認定施設	
・ 当院が連携施設となるプログラム	
・ 専攻医受入実績(3年間)	
・ 処遇など	
・ 応募要項	

● 京都岡本記念病院について

- ・ごあいさつ 高木 敏貴 院長
- ・沿革
- ・京都岡本記念病院の概要
- ・2024 年度 診療科別医師数
- ・各階の構成
- ・2023 年度 診療実績
- ・当院の特徴

ごあいさつ

優れた医師の育成は当院の社会的使命です



高木 敏貴

京都岡本記念病院 院長
名古屋大学卒（昭和 56 年）

京都岡本記念病院は京都府南部地域の基幹病院として 419 床を備え、高度先進医療、急性期医療、救急医療、がん診療、災害医療を主たる役割に医療を提供しています。創業より 110 余年になります。2009 年には社会医療法人として認可を受け、地域の公的な役割を担い、社会に貢献する病院として日々医療に励んでいます。

「慈仁」を岡本病院の理念とし、「いつくしみの心で、すべての命に平等に向き合う」ことを全職員の指針としております。

先進的医療に取り組むための積極的な新規医療機器の導入や、安心と安全な医療を提供することを第一として、人材投資、教育と育成にも積極的に取り組んでいます。

研修医、専攻医教育の充実を目指し、当院の教育センターと各診療科のドクターや、コメディカルが連携して若手医師の教育に取り組んでいます。優れた臨床医を育成するため、実践的な教育の場を提供し、初期・後期研修において十分な臨床能力を身に付けていただくことを目指しています。豊富な症例と、教育担当の医師を中心とした各科の専門的知識・技術を持ったドクターによる丁寧な指導を心がけています。

医師として高い志を持ち、最高の臨床医を目指して共に頑張りましょう。



沿革

明治 39 年、開業

岡本病院のあゆみは、1906 年（明治 39 年）岡本豊蔵が開業した診療所から始まります。診療所を受け継いだ岡本隆一が、1954 年（昭和 29 年）医療法人 岡本病院（財団）を創立。以来「この人はわが子、わが親 わが兄妹」を信条に、患者さまに対するまごころ医療を実践してきました。「医療を以って地域住民に奉仕せん」と岡本病院憲章にもうたわれている通り、その歴史は、地域の人々との太い信頼のパイプによって積み重ねられてきたものです。

1906 年	明治 39 年	創設者 岡本豊蔵、伏見に診療所開設
1954 年	昭和 29 年	20 床の許可病床を取得、医療法人 岡本病院（財団）を開設
1964 年	昭和 39 年	救急告示の指定を受ける
1979 年	昭和 54 年	宇治市神明石塚に第二岡本病院を開設 「岡本病院憲章」を制定
1986 年	昭和 61 年	京都市伏見区の岡本病院を第一岡本病院に改称
1988 年	昭和 63 年	第二岡本病院を第二岡本総合病院に改称
1994 年	平成 6 年	宇治市神明石塚に訪問看護ステーションひまわりを開設
1999 年	平成 11 年	居宅介護支援事業所を開設 特定集中治療室（6 床）を設置
2000 年	平成 12 年	宇治市伊勢田町に血液透析施設 あすなろ岡本診療所を開設 医療機能評価受審・認可
2002 年	平成 14 年	府内で初めて特別医療法人の認可を受ける
2003 年	平成 15 年	管理型臨床研修病院（現：基幹型臨床研修病院）に指定
2004 年	平成 16 年	回復期リハビリテーション病棟（46 床）を設置
2005 年	平成 17 年	特定医療法人の認可
2006 年	平成 18 年	おかもと総合クリニックを開設、電子カルテ導入 医療機能評価受審・認可（Ver5.0 受審区分 3）
2007 年	平成 19 年	大動脈センター・心臓センター開設 外来化学療法室（2 床）を設置
2008 年	平成 20 年	脳卒中センターを開設 京都府から「京都府地域がん診療連携協力病院」に指定
2009 年	平成 21 年	京都初の「社会医療法人」に認定
2011 年	平成 23 年	京都府より「京都府地域がん診療連携病院」に指定
2012 年	平成 24 年	京都府より「京都府災害拠点病院（地域災害医療センター）」に指定 京都府より「地域医療支援病院」に認定
2015 年	平成 27 年	厚生労働省から「地域がん診療病院」に認定
2016 年	平成 28 年	久世郡久御山町佐山に移転、「京都岡本記念病院」に改称 放射線治療を開始
2018 年	平成 30 年	あすなろ岡本診療所が、おかもと総合クリニック内に移転
2019 年	平成 31 年	おかもと総合クリニックがおかもとクリニックと改称
2020 年	令和 2 年	厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」に指定 おかもとクリニック内に「おかもとクリニック通所リハビリテーションセンター」を開設 おかもとクリニック内に「宇治おかもと安心介護の家（小規模多機能型）」を開設
2025 年	令和 7 年	新病院「くみやま岡本病院」を開院（回復リハビリ 50 床、地域包括ケア 50 床）

京都岡本記念病院の概要

名称	社会医療法人 岡本病院(財団) 京都岡本記念病院
院長	高木 敏貴
所在地	〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口 100 番地
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・近鉄京都線「大久保」駅または JR 奈良線「新田」駅から、京都京阪バス乗車(淀方面行き) 「佐山」下車徒歩約 5 分 ・第二京阪道路 大阪方面から 「久御山南 IC」よりすぐ 京都方面から 「八幡東 IC」より車で 5 分
開設日	1979 年 4 月 1 日(旧第二岡本総合病院) ※2016 年 5 月 1 日、新築移転を機に改称
病床数	419 床 (急性期一般 365 床、ICU8 床、HCU12 床、SCU6 床、回復期リハビリテーション病棟 28 床)
主要設備、医療機器	【ICU】セントラルモニター 1 台、ベッドサイドモニター 9 台、血液ガス分析装置 1 台、人工呼吸器 8 台、心電計 1 台、除細動器 1 台、移動型 X 線撮影装置【手術室】O-arm1 台、外科用イメージ 2 台、ECMO 装置 1 台、IABP 装置 1 台、人工心肺装置 1 台、自己血回収装置 2 台、手術用顕微鏡 3 台、アンギオ装置 1 台、移動型 X 線撮影装置、内視鏡手術支援ロボット、補助循環用ポンプカテーテル装置 1 台【血管造影センター】アンギオ装置 3 台、ECMO 装置 1 台、IABP 装置 1 台、OFDI 装置、OCT 装置 1 台、IVUS 装置 2 台、臨床用ポリグラフ、3D マッピング装置(EnSite X、CARTO3)、Bard ラボシステム 1 台、クロッサーシステム、Rotablator system、Diamondback 360® Coronary Orbital、Atherectomy システム、補助循環用ポンプカテーテル装置 1 台、エキシマレーザー【放射線治療センター】高精度放射線治療装置、治療計画用 CT 装置 1 台
看護基準	7 : 1(一般病床)
医師数	133 名(正職員) ※専攻医・研修医含む
職員数	1002 名
標榜科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、緩和ケア内科、ペインクリニック内科、感染症内科、外科、外科(消化器外科・肛門外科・がん)、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、リウマチ・膠原病内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、放射線科、臨床検査科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科
認定・指定	基幹型臨床研修病院、地域がん診療連携拠点病院、救急告示病院、開放型病院、京都府山城北圏域地域リハビリテーション支援センター、京都府在宅療養あんしん病院、京都府災害拠点病院(地域災害医療センター)、地域医療支援病院、日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.2.0)、臨床研修指定病院(卒後臨床研修評価機構認定施設)、日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価認定施設
法人関連施設	おかもとクリニック、岡本介護支援センターひまわり、訪問看護ステーションひまわり、ひまわり保育園(院内施設)、伏見岡本病院、訪問看護ステーションふれあい、居宅介護支援事業所ふれあい、伏見岡本デイケアセンター、おかもとクリニック通所リハビリテーションセンター、宇治おかもと安心介護の家(小規模多機能型)
院内売店	ローソン(6 : 30~22 : 00)

(2024 年 11 月現在)

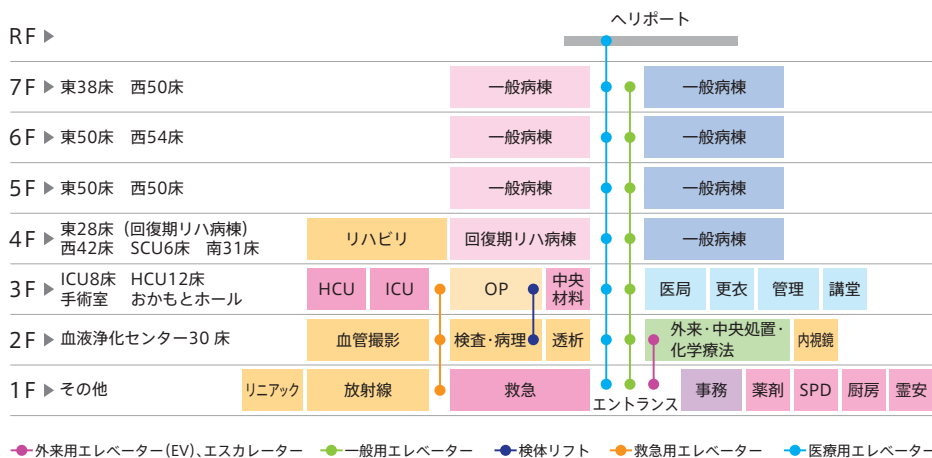
2024年度 診療科別医師数

診療科別医師数 ※() 専攻医数

総合内科	5名 (3名)	小児科	3名 (0名)
循環器内科	8名 (3名)	リハビリテーション科	3名 (1名)
糖尿病内分泌内科	5名 (3名)	耳鼻咽喉科	1名 (0名)
消化器内科	10名 (4名)	歯科口腔外科	2名 (0名)
腎臓内科	7名 (1名)	眼科	4名 (1名)
脳神経内科	6名 (2名)	泌尿器科	3名 (1名)
緩和ケア科	1名 (0名)	救急科	4名 (0名)
感染症科	1名 (0名)	麻酔科	9名 (0名)
精神科	2名 (0名)	放射線科	3名 (0名)
外科	6名 (0名)	放射線治療センター	1名 (0名)
心血管外科	4名 (0名)	病理診断科	2名 (0名)
脳神経外科	5名 (1名)	予防医学科	1名 (0名)
呼吸器外科	4名 (0名)	特定集中治療室	4名 (0名)
整形外科	6名 (3名)	臨床検査科	1名 (0名)
乳腺外科	3名 (0名)	医師臨床研修センター(研修医)	19名
産婦人科	3名 (0名)		

(2024年4月現在)

各階の構成



敷地面積 約28,000 m²
 建築面積 約 6,000 m²
 敷地面積 約30,000 m²
 駐車台数 234台
 地上7階建
 屋上救急ヘリポート設置

2023 年度 診療実績

1日平均外来患者数	568人
1日平均入院患者数	413人
平均在院日数(急性期)	13.1日
紹介率・逆紹介率	70.4%・107.5%
手術・検査件数	15,138件 (うち全身麻酔 2,951件)



診療科別手術件数	眼科 …………… 1,724
	整形外科 …………… 914
	消化器外科 …………… 714
	脳神経外科 …………… 361
	泌尿器科 …………… 671
	耳鼻咽喉科 …………… 290
	心臓血管外科 …………… 226
	産婦人科 …………… 230
	呼吸器外科 …………… 154
	乳腺外科 …………… 98
	その他 …………… 123
	合計 …………… 5,505
アンギオ件数	循環器内科 …………… 1,243
	脳神経外科 …………… 275
	その他 …………… 209
	合計 …………… 1,727
内視鏡件数	消化器内科 …………… 7,906

診療科別 新入院患者数	循環器内科 …………… 1,392
	消化器内科 …………… 1,324
	消化器外科 …………… 1,043
	脳神経外科 …………… 867
	眼科 …………… 714
	脳神経内科 …………… 676
	整形外科 …………… 685
	腎臓内科 …………… 388
	総合内科 …………… 356
	呼吸器外科 …………… 487
	泌尿器科 …………… 693
	心臓血管外科 …………… 183
	耳鼻咽喉科 …………… 331
	糖尿病内分泌内科 …… 359
	産婦人科 …………… 230
	その他 (内科、リハ科、乳腺外科、小児科、形成外科、歯科口腔外科) 289

救急搬入件数	6,667件
救急搬入時転帰	外来：3,424件
	入院：3,103件
	CPA搬入：140件
入院時科別件数	総合内科 …………… 148
	外科(消化器外科) …… 365
	循環器内科 …………… 501
	脳神経外科 …………… 482
	消化器内科 …………… 297
	脳神経内科 …………… 417
	腎臓内科 …………… 177
	整形外科 …………… 261
	心臓血管外科 …………… 39
	呼吸器外科 …………… 68
	糖尿病内分泌内科 …… 164
	内科 …………… 4
	その他 (耳鼻科、眼科、産婦人科、泌尿器科、歯科口腔外科) 62

当院の特徴

■ 救急搬入件数 年間 6,667 件 (2023 年度)

年間、救急患者 10,000 件以上 (うち救急搬入約 7,000 件) を受け入れています。夜間は内科、外科、循環器内科、ICU、SCU の当直体制で心臓血管外科、脳神経外科を含め 24 時間緊急手術が可能で、心臓カテーテル処置、緊急内視鏡、動脈塞栓術も積極的に行なっています。また教育機関として京都府立医科大学研修医の救急実習や地域の救急救命士の研修受け入れ、AHA、ICLS 講習会、JATEC や JPTEC プロバイダコースの開催もしており、「救急科専門医指定施設」に認定されています。



■ 24 時間オンコール体制で緊急内視鏡処置に対応



消化管出血や黄疸を主訴とする救急搬送に対しても、全曜日 24 時間オンコールの体制で緊急内視鏡対応を行っています。消化器内科における内視鏡検査・治療は、診断技術の進歩と最新機器の開発により増加の一途をたどっており、当院でも 2022 年度の実績で年間約 8,000 件の内視鏡を用いた検査・治療を行っています。

また、当院は日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設に認定されています。当科では指導医 1 名を含む専門医 4 名が後進の指導にあたり、消化器内科を志す医師が研鑽を積むことで、2 学会の専門医試験受験資格が得られる環境を整えています。

■ 脳神経内科と脳神経外科の連携による最新の脳卒中治療が可能

両科のタッグによる包括的脳卒中センターを構築しており、虚血性脳血管障害(一過性虚血発作、脳梗塞)は脳神経内科、出血性血管障害(脳出血、くも膜下出血)は脳神経外科が、主に担当医となりそれぞれ内科的治療、血管内治療、開頭手術などを協同で行っております。

2017 年 7 月には SCU 病床を 3 床から 6 床に増床。臨床経験 5 年以上の脳神経内科医か脳神経外科医が院内に常駐し、脳卒中専門の当直体制を敷いています。また、常時「脳卒中ホットライン」の携帯電話を持つことで、救急隊や他の医療機関とダイレクトにつながる連携連絡体制をとっています。



■ 内科と外科が一体となった「循環器センター」



2024年4月から循環器内科と心臓血管外科が一体となって急性期を中心とした幅広い心血管疾患に対応する循環器センターを開設しました。心臓病を中心として今までの経験を地域医療に生かせるよう努力し、循環器センターは世界レベルの医療の実現をめざします。

■ 京都府地域災害拠点病院

2012年3月、京都府山城北医療圏(宇治市、城陽市、京田辺市、八幡市と久御山町、井手町、宇治田原町)の災害拠点病院の指定を受けました。大規模災害が起きた際、多数の傷病者を受け入れ、他の救助・救護機関や地域の病院と連携して広域的な医療支援を行うことが求められるため、今後も、災害マニュアルの整備、災害訓練、災害派遣医療チーム(DMAT)の編成、備蓄(医薬品、食料)、災害教育など多くのことを整備していきます。



■ 山城北圏域地域リハビリテーション支援センター（京都府指定）



当院は救急、急性期機能に、総合的なリハビリテーション機能を併せ持った施設です。59床の回復期リハビリテーション病棟を持ち、リハビリテーションの専門医3名が診療にあたっています。さらに関西地域においてリハビリテーション医療を中心に診療している病院も含め、リハビリテーションセラピスト(PT、OT、ST)のチーム体制はトップレベルです。2015年4月からは心臓リハビリテーションも開始しました。

2005年より京都府からの指定・委託を受け、山城北圏域の地域リハビリテーション支援センターとしても活動しています。

■ 地域がん診療連携拠点病院

地域がん診療連携拠点病院とは、決められた要件を満たし、都道府県の推薦をもとに厚生労働大臣が指定した病院で、当院は2020年4月に指定されました。地域のがん診療の拠点として専門的ながん医療の提供、相談支援情報提供などの役割を担っています。また地域や他機関との相互の連携と支援によって、地域全体のがん診療の水準を高めていきます。

■ 最新の医療機器

・ 低侵襲手術支援ロボット da Vinci Xi

当院では 2022 年度に低侵襲手術支援ロボット da Vinci Xi を導入いたしました。泌尿器科における前立腺がんや、消化器外科における直腸がん、呼吸器外科での肺がんにダビンチ手術を実施しています。



・ O-arm イメージングシステム

O-arm は、エックス線を用いた高精細の透視画像と、3D の断層画像をポータブルに手術中に取得できる機器で、ハイリスクな脊椎脊髄手術に威力を発揮しています。

・ ハイブリッド OR

ハイブリッド手術室では、これまで別々に行っていた開腹・開頭手術とカテーテル検査・治療を同時に行えるようになりました。また、イメージングシステムの更新により、治療の精度や確実性もより高まりました。



・ 補助人工心臓 IMPELLA

IMPELLA は、心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全に対して、大腿動脈から左心室内に挿入・留置し、左心室から直接脱血し、上行大動脈に送血することにより体循環を補助するカテーテル式の血液ポンプです。

・ 経カテーテル大動脈弁留置術 TAVI

TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)は、心臓弁膜症の代表的な疾患である大動脈弁狭窄症に用いられます。胸を開かず、心臓を止めずにカテーテルを使って人工弁を心臓に装着する治療法です。TAVI は、「カテーテル大動脈弁移植術協議会」の認定を受けた施設でしか行えない治療法で、当院では 2022 年秋から開始しています。

■ 医師のサポート体制

・ 専門医取得をバックアップ

職員が積極的に医療に関する専門資格を取得することを奨励しているため、一定の条件をクリアすれば資格取得に関わる研修・講義費・受験料・認定料等を全額病院負担とする等、専門医取得を全面的にバックアップします。

・ メディカルクラークによるサポート

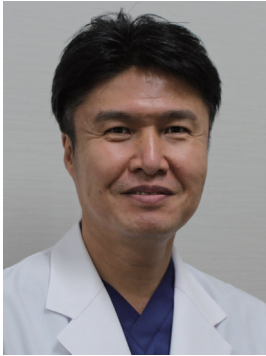
現在、多数のメディカルクラークが各診療科で医師の診療をサポートしています。加えて、より実践的で専門的なスキルを備えたスペシャルメディカルクラークの育成にも力を入れ、今まで以上に医師の負担軽減を目指しています。

● 研修医

- ・ごあいさつ
宮田 正年 臨床研修プログラム責任者・消化器内科主任部長
- ・臨床研修プログラム概要
- ・おもな研修医対象勉強会
- ・プログラムの特徴
- ・当院の福利厚生
- ・現職 VOICE !!
- ・応募要項・処遇など
- ・よくある質問

ごあいさつ

プライマリーケアのできる実力ある臨床医に



宮田 正年

消化器内科 主任部長
臨床研修プログラム責任者
大阪医科大学卒（平成6年）

当院は京都府南部の病床数 419 床を備える地域の中核急性期病院で、京都府宇治市内の旧病院から 2016 年にこの久御山町の地に新築移転しました。研修医教育についても医師臨床研修制度が始まった 2004 年から積極的に取り組んでいます。また、当院は全国の有力民間病院が集まって運営される NPO 法人である VHJ 機構の参加病院であり、「研修医・指導医交流会」などを通じて、他病院の研修医と交流、情報交換が可能です。

病院採用の研修医の定員は 1 学年 3～4 名で、これに京都府立医科大学、京都大学、滋賀医科大学、福井大学からのたすきがけが加わります。もともと病院規模からすると研修医の人数が少ないため、研修医と、指導医を含めた病院スタッフとの距離感が近く、アットホームな雰囲気です。病院として救急医療に力を入れており、研修医は common disease から稀な疾患まで豊富な症例と手技を経験できます。また研修プログラムについても個々の研修医の将来の進路に合せた希望に添って柔軟に対応しています。

院内の研修医向けの教育研修としては、院内 CPC として岡本臨床カンファレンス、放射線科医との画像検討会などを定期的で開催しています。上級医の指導の下、学会や研究会での発表も積極的に行ってもらっており、その際の学会参加費用の援助も行っています。その他、住居手当の支給や、病院付属の保育園を併設するなど、福利厚生も手厚く、研修に集中しやすい環境を整備しています。また、研修医の相談相手として、あるいはメンタルサポートのために、研修医 1 人 1 人に、年齢の近い上級医のメンターを置いています。

当院での研修を通じて、医師としての基本的診療能力を身に付け、プライマリーケアのできる実力ある臨床医に育ててもらいたいと考えています。臨床経験豊富な指導医の下、温かい病院スタッフと共に、医療設備のそろった素晴らしい環境で、臨床能力を高めたい熱意ある医学生諸君を募集しています。



臨床研修プログラム概要

研修理念

地域を支え、地域に支えられている病院であることを理解し、救急医療はもとより幅広い臨床能力の取得と医師としての人格形成をおこなう。

基本方針

1. 医師としての人格を涵養し、地域医療において実践できる基本的能力を身につけることを目標とする。
2. 当院が社会医療法人であることを理解し、救急・初期診療に対応する能力を身につけ地域医療に貢献する。
3. 適切なコミュニケーション能力を持ち、チーム医療を実践する。
4. 医療安全・感染管理に留意し、患者ならびに医療従事者に安全な医療を遂行する。

研修プログラム名

京都岡本記念病院卒後臨床研修プログラム

研修実施責任者

高木 敏貴(院長)

プログラム総括責任者

宮田 正年(消化器内科 主任部長)

協力型臨床研修病院

【精神科】

医療法人栄仁会 宇治おうばく病院(精神科)
〒611-0011 京都府宇治市宇治五ヶ庄三番割 32-1
TEL 0774-32-8111
指導医：大月 祥宏(精神科医長)

【産婦人科・小児科】

京都第一赤十字病院(産婦人科・小児科)
〒605-0981 京都市東山区本町 15丁目 749 番地
TEL 075-561-1121
指導医：大久保 智治(産婦人科部長) 西村 陽(小児科部長)

【小児科】

京都第二赤十字病院(小児科)
〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5
TEL 075-231-5171
指導医：加納 原(小児科部長)

臨床研修協力施設

【地域医療】

医療法人弥生会 上田診療所
〒611-0013 宇治市菟道平町 17
指導医(指導者)：上田 通章(院長)

京丹後市立久美浜病院
〒629-3403 京丹後市久美浜町 161 番地
指導医(指導者)：赤木 重典(院長)

まつだ在宅クリニック
〒611-0033 宇治市大久保町旦椋 11 番地 8 コパングージュヌ 201 号
指導医(指導者)：松田 かがみ(院長)

よしき往診クリニック
〒615-8262 京都市西京区山田四ノ坪町 12-2
指導医(指導者)：守上 佳樹(院長)

研修計画

原則として研修期間は 2 年間とする。

1. 研修プログラム 1 年目、2 年目共通：内科 24 週、救急 12 週、外科 4 週、精神科 4 週、産婦人

科 4 週、小児科 4 週、一般外来 4 週を必修科目として実施する。

・内科研修：内科系診療科【消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、脳神経内科、総合内科】を内科領域の到達目標を達成できるようにローテーション研修する。

・一般外来研修：ブロック研修又は並行研修により到達目標が達成できるように研修する。

2. 研修プログラム 2 年目：地域医療 4 週を必修科目として実施する。

・地域医療：中小病院、診療所、へき地、在宅訪問から、1 箇所又は 2 箇所を選択、4 週又は 2 週ごとの研修を行う。(選択制)

3. 選択科目：研修目標の達成、さらには専門的知識・技能を習得するために、以下に記載する診療科を選択科目として研修する。

《選択科目》

消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、脳神経内科、救急科、総合内科、麻酔科、外科(消化器一般外科)、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、整形外科、乳腺外科、リハビリテーション科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、特定集中治療室(ICU)、小児科、産婦人科、病理診断科、精神科、地域医療

4. スケジュール：「卒後臨床研修ローテーション表」のとおりとし、希望に応じた選択方式とする。但し、病院都合により、希望に応じられない場合あり。

年次	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1 年次	※残り2週は他ローテにて対応 オリエンテーション(2週)	内科 (24週) ※一般外来研修含む					救急 (8週)	外科 (4週)	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目
2 年次	救急 (4週)	地域医療 (4週)	精神科 (4週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目

※一般外来は並行研修として行う

<ローテーション例>

指導体制

各科「診療科別臨床研修プログラム」に沿った研修を行い、研修期間内において一般目標・行動目標が達成できるように、指導医が責任をもって教育・指導にあたる。

研修の評価

2 年間の全プログラム終了時に、研修医自己評価、各科指導医の研修医評価に基づく目標達成度総合評価が「京都岡本記念病院臨床研修管理委員会」において行われ、合格者には研修終了時に院長から研修修了書を授与する。不合格時には再教育後、再評価する。

体制

研修病院タイプ 基幹型
マッチングプログラム 参加
指導医数 40 人(臨床研修指導医養成講座修了者)

研修実績

研修医数 研修医=1 年次 4 人+たすきがけ 9 人
2 年次 5 人+たすきがけ 1 人

たすきがけ協力病院

研修医出身大学 京都府立医科大学、京都大学、滋賀医科大学、金沢大学、福井大学、三重大学、関西医科大学、兵庫医科大学、徳島大学、香川大学、高知大学、愛媛大学、名古屋市立大学、大阪医科薬科大学、近畿大学、東北大学、愛知医科大学、広島大学、藤田医科大学、北里大学、川崎医科大学

後期研修先及び就職先 京都岡本記念病院、京都府立医科大学附属病院、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都山城総合医療センター、京都医療センター、滋賀医科大学医学部附属病院、兵庫医科大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院

京都府立医科大学附属病院、京都府立医科大学附属北部医療センター、京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、福井大学医学部附属病院

おもな研修医対象勉強会

毎週開催

研修医レクチャー 1年間を通して行われる多専門領域・多職種の実践的レクチャー。将来どの専門領域に進んだとしても、幅広い知識と視野を備えたい医師として活躍できるよう、学ぶ機会を整えています。

放射線カンファレンス 週に一度、直近症例から勉強になる画像をピックアップして伝えていきます。救急にてよく遭遇するものから、押さえておきたいエマージェンシーな疾患まで、アットホームな雰囲気でご指導しています。

研修医カンファレンス 研修医主導で行われる、学びの多かった救急症例の振り返りカンファレンス。実症例を用いたプレゼンテーションと議論を通じて、ERでの実戦的な考え方や働き方を学ぶことができます。

定時開催

NEJM 抄読会 1カ月に1回、救急科・総合内科を中心にNEJM抄読会を開催しています。NEJMのCase Records Of the MGHの中からプレゼンテーション担当の研修医が症例を選び、翻訳し症例揭示を行い、プロブレムリストの作成や鑑別診断・追加検査を挙げながらディスカッションを行っています。

適宜開催

CV研修、縫合研修、採血・血管確保研修、医療機器研修、BLS・ACLS研修、トランスファー研修、緩和ケア研修、臨床病理検討会(CPC)



プログラムの特徴

● 豊富な症例

2023年度の救急患者件数は10,853件で、そのうち救急搬送件数は6,667件と研修医数に比較すると、かなり多い件数となっています。そのため、積極的に1年目からさまざまな症例を経験することができます

● 熱意ある指導医による研修

指導医資格のある医師のほぼ全てが「臨床研修指導医養成講座」の修了者です。また、メンター制（年齢の近い上級医が担当）も採用し、研修医の精神的支援も行っています。



● 自由度の高い研修プログラム

一定の条件はありますが、本人の希望に沿った研修プログラムを提供できるように調整しています。また、研修プログラムの達成は必須ですが、年度途中でローテーション予定の診療科を変更することも可能です。

● 臨床研修評価認定

当院はNPO法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、認定を受けています。
(2023年4月更新)



当院の福利厚生

● 独立した研修医室

当院では、総合医局とは別に独立した研修医室を確保しています。研修医が気兼ねなく過ごせるスペースを確保することで、リフレッシュした気持ちで研修を受けることができます。



● 住環境の充実をバックアップ

当院では住環境の充実のため、住宅手当として月 4 万円を支給しています。また敷金・礼金の一部を病院が負担する制度もあります。

● 病院附属の保育園

出産後も安心して働けるよう 0 歳児から 6 歳児対象の 24 時間対応院内保育園を完備しています。小さなお子さまのおられる方でも安心して働くことができる環境を、第二岡本総合病院開院時の 1979 年からずっと提供しています。



現職 VOICE !!



垣見 医師
《2024 年度入職》

高知大学 卒

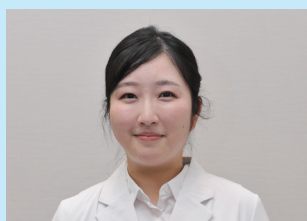
★ 当院を初期研修に選んだ理由

病院見学で来た際に、まず病院内が綺麗なところがとても印象に残りました。そして病院全体の雰囲気がとても良いように感じました。皆さんがいきいきと仕事をされている姿を見てぜひこの病院で初期研修をしたいと感じました。救急も二次救急病院ではあるものの、断らない救急を掲げており、幅広い症例を経験できることも魅力の1つでした。

★ 医学生に向けてメッセージ

研修医の数が多いのはメリットだと思います。たすきがけの先生が多いため、さまざまなパーソナリティを持った仲間と研修を行えます。また指導医の先生方はとても優しく丁寧に指導して下さいます。

忙しい時期もありますが、基本的には自分がしたいように研修ができる病院だと思います。ぜひ皆さんと一緒に研修できることを楽しみにしております。



望月 医師
《2024 年度入職》

京都府立医科大学 卒

★ 当院を初期研修に選んだ理由

私は、京都岡本記念病院の、明るく温かな雰囲気に惹かれました。以前、検診で訪れたことがあり、その際に、病院の明るい雰囲気や、看護師の方や先生方が皆さんとても優しく、心が残っていました。救急の現場を見学させていただいた際には、研修医の先生方が積極的に手技をされていたり、真摯に仕事に励まれる姿をみて、憧れを持つようになりました。

また、研修医として力をつけるためには救急で多くの症例を経験することが重要だと考えていたので、断らない救急を掲げている点でも魅力的であり、当院での初期研修を希望しました。

★ 医学生に向けてメッセージ

指導医の先生方も優しく、研修内容の要望を聞いてくださる点や、研修医室でリラックスできる点でも、とてもよい環境です。

学生生活も忙しいとは思いますが、一度来ていただければ京都岡本記念病院の良さを感じていただけたと思います。病院見学では主に研修医と話すことが出来るので、緊張せずに気軽に来ていただきたいです。



山田 医師
《2024 年度入職》

滋賀医科大学 卒
滋賀医科大学たすきがけ

★ 当院を初期研修に選んだ理由

私が当院での初期研修を目指したのは大学6年生時の学外実習がきっかけでした。1 カ月間、救急科と脳神経外科で実習させていただいた際、研修医の先生方や上級医の先生方の働く姿をみて自分もこんなふうになりたいと思いました。

また、当院は私の地元の病院であり、小さい頃からお世話になっていたこともあり、当院で働き地元の医療に貢献していきたいと考え、初期研修先として志望させていただきました。

★ 医学生に向けてメッセージ

当院は先生方や他の職種の方も優しくて親切な方が多く、初期研修医としてとても働きやすい環境です。日々の研修では上級医の先生にたくさん指導していただき、気になったことがあればすぐに教えてもらっています。

また研修医室では同期や2年目の先輩とそれぞれの症例について相談しあったり、プライベートなことを語り合ったりと充実した時間を過ごすことができます。ぜひ一度見学に来てこの雰囲気の良さを体験してみてください。



河合 医師
《2023 年度入職》

京都府立医科大学 卒

★ 当院を初期研修に選んだ理由

私は出身が京都ということで、京都の病院をメインに考えておりました。そして、京都には多数の病院がありますが、その中でも当院は研修のバランスが良いことが挙げられます。病院の科の数や救急当直の忙しさ、研修医の人数とその雰囲気の良さなど、そのどれもが極端さがなく程よいため、ストレスが少ない点が長所だと思います。

また、病院見学で見ていた中で大学では経験のできない手技や common disease な症例も多く、三年目以降に向けて自信を付けることができると感じたのも大きな理由の一つになりました。

★ 医学生に向けてメッセージ

当院では自分の時間もしっかりと確保できますし、上級医や指導医の先生方も教え上手で研修医にフィードバックをしてくれる方が多いです。また、研修医の面々も癖の強い人がおらず研修医室の雰囲気も非常に良いと思います。もし興味があれば是非一度当院へ気軽に足を運んでみてください。

応募要項・処遇など

応募要項

定員	1年次 4名
応募書類	履歴書(当院指定の履歴書をホームページからダウンロード、A3用紙にて提出してください) 卒業(見込み)証明書 学業成績証明書 共用試験医学系 CBT 個人成績表(写し)
提出先	〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口 100 番地 京都岡本記念病院 教育センター 宛 TEL : 0774-48-5500(代表) E-mail : kensyu@okamoto-hp.or.jp
応募期間	2025年7月1日(火)～8月4日(月)必着
選考日	2025年8月21日(木)22日(金)※どちらか1日
選考方法	面接・筆記および応募書類
選考場所	京都岡本記念病院
その他	選考日の詳細については、追って通知する。

処遇

身分	正職員
勤務時間	8:30～17:30
休日	日曜日を含む週休2日制、その他リフレッシュ休暇 年間5日
有給休暇	当院規定のとおり(1年目10日、2年目11日)
給与	1年次 月額 372,000円(賞与年間 300,000円) 2年次 月額 425,000円(賞与年間 400,000円)
手当等	〔住宅手当〕 月額 40,000円 ※ただし世帯主に限る。 ※敷金・礼金の一部を病院が負担する制度あり。 〔通勤手当〕 当院規定のとおり 〔日直・当直手当〕 日直:32,000円/回 副直:37,000円～46,000円/回 ※日当直4～6回/月程度 〔時間外手当〕 全額支給 ※ 研修医期間(2年間)は、退職金の支給対象年数から除外する。
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険加入
健康管理	年2回職員健康診断実施
医師賠償責任保険	病院賠償責任保険に加入
学会・院外研修等への参加	各診療科予算範囲内で出張可。その他規定に準じる。

よくある質問

Q：プライマリ・ケアを頑張りたいがそれを鍛えるシステムは？

総合医局のためいろいろな症例を紹介してもらえます。
基本的なことができるようになれば時間外や救急外来など、どんどんやることもできます。

Q：この病院を選んだ決め手は？

研修医のみなさんは「自由度が高いこと」「救急に力を入れているところ」「医局の雰囲気が良い」「出身大学からの先生が多い」と答えました。

Q：当直体制を教えてください

内科・外科・ICU・SCU・循環器内科の5名の上級医が当直する中、研修医は2名で副直に入っています。月の日宿直回数は4～6回程度です。当直の勤務時間は8：30～翌13：00となっています。

Q：勉強会などはありますか？

1年間を通して多専門領域の実践的レクチャーとして「研修医レクチャー」を、救急症例の振り返りとして「研修医カンファレンス」を、また「放射線カンファレンス」も毎週行っています。その他、指導医によるCVライン研修・縫合研修や、臨床検査技師指導によるエコー研修、看護師からの直接指導による採血・血管確保研修なども行っています。

Q：研修を始めて感じた長所と短所は？

研修医のみなさんに聞いてみると…

長所：総合医局のため質問・相談がしやすいところ。

短所：産婦人科・小児科・精神科など協力病院にいく診療科が多い。

Q：研修医室はありますか？

総合医局とは別に独立した研修医室を確保しています。研修医が気兼ねなく過ごせるスペースを確保することで、リフレッシュした気持ちで研修を受けることができます。

Q：宿舎はありますか？

病院の宿舎はありませんが、住宅手当として月4万円を支給しています。また、敷金・礼金の一部を病院が負担する制度もあります。病院の宿舎と違い、ご自分の生活スタイルに合わせて住居を自由に選んでいただける点がメリットです。

Q：過去の採用実績は？

	受験者数	定員	マッチ数	採用者数	たすきがけ採用者
2021年度 (2022年度採用)	22	4	4	4	9
2022年度 (2023年度採用)	17	4	4	4	8
2023年度 (2024年度採用)	22	4	4	4	9

※たすきがけ採用者数 = 京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院の1年次研修医の合計数 (たすきがけ2年次除く)

Q：試験内容は？

個人面接・筆記試験 (医師国家試験の過去問題から出題)・応募関係書類です。

Q：見学をしたい場合は？

見学をご希望の方は、メールにてお申込みください。

TEL：0774-48-5550 法人事業部 人事部 E-mail：jinji-mail@okamoto-hp.or.jp

● 専攻医

- ・ 内科専門研修プログラム
- ・ 内科系診療科紹介
- ・ 麻酔科専門研修プログラム
- ・ 学会専門医等認定施設
- ・ 当院が連携施設となるプログラム
- ・ 専攻医受入実績(3年間)
- ・ 処遇など
- ・ 応募要項

内科専門研修プログラム

【内科専攻医へのメッセージ】

京都岡本記念病院は、京都府山城北医療圏にある急性期病院で、地域がん診療連携拠点病院・災害拠点病院・地域医療支援病院として地域医療に貢献しています。



院内では各科のカンファレンスや各種セミナー・勉強会を頻回に開催しており、カンサーボードなどの多職種合同カンファレンスなども実施しています。generalな研修を行いながらもsubspecialな研修を並行して行う事ができます。

近接医療圏にある連携施設・特別連携施設や大学病院において多様な形態での内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。

内科プログラム統括責任者 鹿野 勉

(腎臓内科統括部長・血液浄化センター統括部長・医局長)

《内科専門研修プログラム 連携施設一覧》

領域	連携施設	プログラム名	
内科	京都府立医科大学附属病院	京都岡本記念病院内科専門研修プログラム	
	京都府立医科大学附属北部医療センター		
	京都第二赤十字病院		
	京都きつ川病院		京都府
	京都山城総合医療センター		
	京都中部総合医療センター		
	福知山市民病院		
	洛和会音羽病院		
	京丹後市立久美浜病院		
	滋賀医科大学医学部附属病院		滋賀県
	近江八幡市立総合医療センター		
	大津赤十字病院		
	市立大津市民病院		
	済生会滋賀県病院		大阪府
	大阪府済生会中津病院		
	神戸中央病院		
中東遠総合医療センター	静岡県		
舞鶴赤十字病院(特別連携施設)	京都府		

プログラム概要

- ① 研修期間 3年間(うち連携施設1年)
- ② 配属先は将来目指す診療科とし、サブスペシャリティ重点研修タイプ2年型を基本とする。

内科系診療科紹介

【腎臓内科】

腎臓内科は現在、統括部長以下 7 名（うち日本腎臓学会および日本透析医学会指導医 3 名）で診療しています。腎臓は、いろいろな病態で影響を受ける臓器であり、特発性の糸球体腎炎のみならず、糖尿病などの代謝疾患、膠原病、感染関連腎炎、循環不全時の急性腎障害、電解質異常、ファブリー病などの遺伝疾患などさまざまな病態を呈します。血液透析や免疫異常時などの血漿交換などは、現在ではなくてはならない診療行為です。腎生検も年 40 例以上行っています。薬剤性腎疾患など医原性の原因も多く、臨床のさまざまな場面で腎疾患が絡みます。つまり全身を診るときに腎疾患を避けては通れないでしょう。また、当院は日本腎臓学会、日本透析医学会の認定研修施設であり、それぞれの専門医も取得できます。当院で腎疾患を通じて総合的に診療しましょう。

【消化器内科】

消化器内科は内視鏡、放射線、超音波装置などを駆使して、さまざまな疾患に対し、診断、および内視鏡治療、超音波装置を用いた経皮的治療などを行う診療科です。当科の内視鏡検査件数は年間約 8,000 件あり、地域でもトップクラスの症例数を経験できます。また、当科は日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会認定施設であり、当科の勤務実績で同学会専門医試験の受験資格が得られます。専攻医に対しては、常勤の学会認定指導医 1 名を含む専門医 4 名が指導に当たります。

【糖尿病内分泌内科】

当院は糖尿病学会認定施設、内分泌学会認定施設です。1 年間の入院症例数はケトアシドーシスを含め糖尿病は 100 例以上、内分泌疾患は負荷試験から診ることができます。およそ 2 年間研修すれば、糖尿病および内分泌領域ので専門医を取得する症例が経験できます。一緒に働いて、医師としてステップアップを目指しましょう。

【脳神経内科】

当院は、日本神経学会の認定教育施設となっております。メンバーは主任部長と副部長、医員、専攻医の計5名で構成されております。当科では、さまざまな種類の神経疾患を経験することができ、当院での経験だけで、専門医取得も可能です。また日本脳卒中学会により、PSC(primary stroke center)としての認定も受け、脳神経外科と共同で急性期脳卒中診療も積極的に行い、学会発表も積極的に行っております。ぜひ、一緒に神経疾患診療を勉強していきましょう。

【循環器内科】

当科では、虚血性心疾患・不整脈疾患・心筋疾患や心不全といった、基本的な心疾患の診断および治療方法についての基礎的な研修を主体としていきます。次に、基礎的な手技が習得された上で、PCI(経皮的冠動脈形成術)やEVT(経皮的血管形成術)あるいは不整脈に対するカテーテルアブレーション・重症大動脈弁狭窄症に対するTAVIといった専門的手技の研修を行います。また、ECMOやIMPELLA補助循環ポンプカテーテルを用いた心原性ショックや重症心不全の管理も行っており、さらに専門的な治療の研修が可能になっています。

【総合内科】

「京都岡本記念病院 内科専門研修プログラム」において、3年目以降も当院での研修が可能です。救急医療から地域医療まで、幅広いスタンスと一緒に診療スキルを磨いていきましょう。

麻酔科専門研修プログラム

【麻酔科専攻医へのメッセージ】

当院は日本麻酔科学会の認定施設となっており、近隣の連携施設においては一般麻酔だけではなく特殊麻酔を含むさまざまな症例を経験することが可能です。



また指導体制も充実しており、当院での研修を通じて標榜医や専門医資格の取得が可能になっています。

加えて麻酔だけではなく希望者には集中治療などの関連領域の研修も可能です。

多職種カンファレンスや院内勉強会、学会発表なども積極的に行っており、充実した研修を受けていただけると自負しております。

我々と共に地域医療に貢献し、患者さん本位の周術期医療を担うことができる麻酔科専門医を目指しましょう。

麻酔科プログラム統括責任者 山根 毅郎

(麻酔科主任部長・特定集中治療室副部長・手術部副部長)

《麻酔科専門研修プログラム 連携施設一覧》

領域	連携施設	プログラム名	
麻酔科	京都山城総合医療センター	京都岡本記念病院 麻酔科専門研修プログラム	
	市立福知山市民病院		
	京都府立医科大学附属病院		
	京都第二赤十字病院		
	京都第一赤十字病院		京都府
	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター		
	京都府立医科大学附属北部医療センター		
	綾部市立病院		
	京都中部総合医療センター		
	近江八幡市立総合医療センター		
	社会医療法人 誠光会 淡海医療センター		滋賀県
	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院		
	淀川キリスト教病院		大阪府
	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院		

学会専門医等認定施設

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 内科領域専門研修プログラム(基幹施設)
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本腎臓学会教育認定施設
- 日本神経学会専門医制度准教育施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 麻酔科領域専門研修プログラム(基幹施設)
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本脳ドック学会脳ドック認定施設
- 日本呼吸器外科専門研修連携施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本脊髄外科学会訓練施設
- 日本眼科学会専門制度研修施設
- 関連10学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設
- 関連10学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設
- 日本臨床栄養代謝学会 認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- 日本病態栄養学会 認定栄養管理・NST実施施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 心臓血管麻酔専門医認定施設
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センターコア
- 補助人工心臓治療関連学会協議会 IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設
- 日本脳神経血管内治療学会研修施設
- 日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
- 日本心エコー図学会認定心エコー図専門医研修施設

- 日本脳神経外傷学会認定研修施設
- 日本脈管学会認定研修指定施設
- 経カテーテルの心臓弁治療関連学会協議会 経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設
- 日本感染症学会研修施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- 日本口腔外科学会認定准研修施設
- 日本胃癌学会認定施設 B
- 人間ドック健診専門医制度暫定研修施設

(2024年10月現在)

当院が連携施設となるプログラム

《当院が連携施設となるプログラム 基幹施設一覧》

領域	基幹施設	プログラム名
内科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学内科専門研修プログラム
	京都第二赤十字病院	京都第二赤十字病院群内科専門研修プログラム
	京都中部総合医療センター	京都中部総合医療センター内科専門研修プログラム
	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学内科専門研修プログラム
	洛和会音羽病院	洛和会音羽病院内科専門研修プログラム
	近江八幡市立総合医療センター	近江八幡市立総合医療センター内科専門研修プログラム
	済生会滋賀県病院	済生会滋賀県病院内科専門研修プログラム
	大阪市立総合医療センター	大阪市立総合医療センター内科プログラム
外科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学外科専門研修プログラム
整形外科	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学整形外科専門研修プログラム
耳鼻咽喉科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム
泌尿器科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学泌尿器科専門研修プログラム
脳神経外科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学脳神経外科専門研修プログラム
	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学脳神経外科専門研修プログラム
放射線科	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀医科大学放射線科専門研修プログラム
麻酔科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学麻酔科専門研修プログラム
病理	京都府立医科大学附属病院	みやこ病理専門研修プログラム
救急科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学附属病院救急科専門研修プログラム
	京都大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
	京都第一赤十字病院	京都第一赤十字病院救急科専門研修プログラム
	京都第二赤十字病院	京都第二赤十字病院救急科専門研修プログラム
	大阪市立大学医学部附属病院	大阪市立大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
リハビリテーション科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学リハビリテーション科専門研修プログラム
	関西医科大学附属病院	関西医科大学リハ研修プログラム
産婦人科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学産婦人科研修プログラム
眼科	京都大学医学部附属病院	京都大学大学院医学研究科眼科学専門研修プログラム
総合診療科	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学総合診療専門研修プログラム

専攻医受入実績（3年間）

京都岡本記念病院
内科専門研修
プログラム

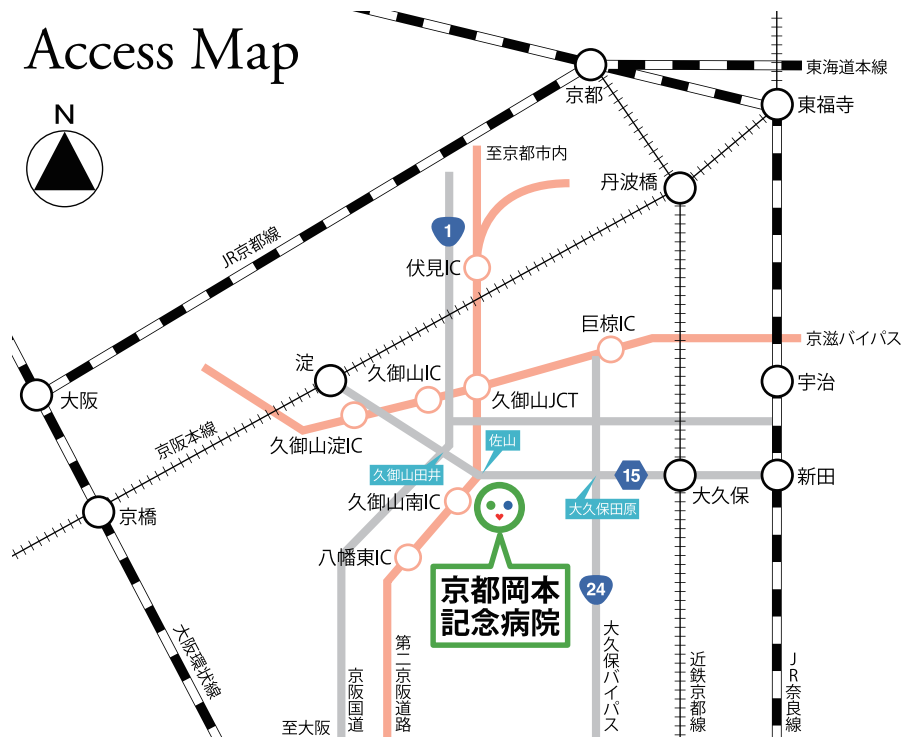
採用年度	採用人数	診療科	初期研修医先
2024年度	4名	消化器内科	京都府立医科大学付属病院
		循環器内科	京都岡本記念病院
		総合内科	京都府立医科大学付属病院
		糖尿病内分泌内科	京都府立医科大学付属病院
2023年度	3名	消化器内科	京都岡本記念病院
		循環器内科	滋賀医科大学医学部附属病院
		糖尿病内分泌内科	京都府立医科大学付属病院
2022年度	4名	総合内科(2名)	京都府立医科大学付属病院
		腎臓内科	滋賀医科大学医学部附属病院
		糖尿病内分泌内科	京都府立医科大学付属病院

その他連携施設
としての専攻医の
受入実績

採用年度	採用人数	診療科	基幹病院
2024年度	10名	消化器内科	済生会滋賀県病院
		消化器内科	京都第二赤十字病院
		循環器内科	済生会滋賀県病院
		脳神経内科(2名)	京都府立医科大学付属病院
		整形外科(3名)	滋賀医科大学医学部附属病院
		泌尿器科	京都府立医科大学付属病院
		リハビリテーション科	京都府立医科大学付属病院
2023年度	12名	総合内科(2名)	京都府立医科大学付属病院
		消化器内科	京都第二赤十字病院
		消化器内科	済生会滋賀県病院
		腎臓内科	滋賀医科大学医学部附属病院
		脳神経内科	京都府立医科大学付属病院
		心臓血管外科	京都府立医科大学付属病院
		脳神経外科	滋賀医科大学医学部附属病院
		整形外科	滋賀医科大学医学部附属病院
		乳腺外科	京都府立医科大学付属病院
		眼科	京都大学医学部附属病院
泌尿器科	京都府立医科大学付属病院		
2022年度	11名	循環器内科	近江八幡市立総合医療センター
		循環器内科	済生会滋賀県病院
		消化器内科	京都第二赤十字病院
		脳神経内科	京都府立医科大学付属病院
		救急科	大阪公立大学医学部付属病院
		麻酔科	京都府立医科大学付属病院
		リハビリテーション科	関西医科大学付属病院
		脳神経外科	滋賀医科大学医学部附属病院
		整形外科(3名)	滋賀医科大学医学部附属病院

アクセス

Access Map



■ 主要駅から最寄駅までの所要時間

- 「京都駅」からJR奈良線 快速利用で「新田駅」まで約 24 分 ※宇治駅で乗り換え
- 「京都駅」から近鉄京都線急行利用で「大久保駅」まで約 17 分
- 「京橋駅」から京阪本線 特急利用で「淀駅」まで約 31 分 ※樟葉駅で乗り換え

■ 最寄駅から当院まで

- 近鉄京都線「大久保駅」から京都京阪バスにご乗車いただき、「佐山」でご降車ください。(約 15 分)
 - 京阪本線「淀駅」から京都京阪バスにご乗車いただき、「佐山」でご降車ください。(約 25 分)
- ※交通事情などで遅れることがあります

■ 近鉄大久保駅から当院までの無料直通バスも運行しております

病院見学受付中!! お気軽にお問い合わせください



社会医療法人 岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

法人事業部 人事部

TEL. **0774-48-5550** (受付 / 月~土 9:00~17:00)

e-mail : jinji-mail@okamoto-hp.or.jp



医師・研修医の
募集サイト